



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社キリン堂ホールディングス

コード番号 3194 URL <http://www.kirindo-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 寺西 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小林 剛久

TEL 06-6394-0100

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	51,257	—	415	—	674	—	117	—
26年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 111百万円 (—%) 26年2月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	10.36	—
26年2月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、平成26年8月18日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	44,411	11,800	26.3
26年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 11,671百万円 26年2月期 1百万円

(注) 当社は、平成26年8月18日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成26年8月18日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び当第1四半期までの実績はありません。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,957	—	1,585	—	2,074	—	597	—	52.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は平成26年8月18日に単独株式移転により設立されたため、前期実績はありません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	11,332,206 株	26年2月期	— 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	1,126 株	26年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	11,331,080 株	26年2月期2Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当第2四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年8月31日まで)の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった、株式会社キリン堂の四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。
- 当四半期連結会計期間(平成26年6月1日から平成26年8月31日まで)は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第2四半期連結会計期間」として記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結財務諸表	11
(1) (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結貸借対照表	11
(2) (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
(3) (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
5. 補足情報	17
販売の状況	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成26年8月18日に単独株式移転により株式会社キリン堂の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲については、それまでの株式会社キリン堂の連結の範囲と実質的な変更はありません。

但し、当社と株式会社キリン堂の決算日が異なることから、当第2四半期連結累計期間につきましては、当社は14日間(平成26年8月18日～平成26年8月31日)、株式会社キリン堂及び決算日が2月15日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年2月16日～平成26年8月15日)、決算日が12月31日の連結子会社は6ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)を連結対象期間としております。

このため、対前年同四半期増減率につきましては、記載していません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策・金融政策により、全体として緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により、個人消費に落ち込みが見られ、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属するドラッグストア業界におきましては、徐々に回復傾向にはあるものの、4月以降は駆け込み需要の反動等から消費者の慎重な購買姿勢は続いており、医薬品ネット販売解禁の動きを背景に、業種・業態を越えた競争の激化も相まって、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」の確立をスローガンに掲げ、商圏内のお客様にとって便利で買いやすい売場づくり、セルフメディケーションの受け皿となる「かかりつけ薬局」としての機能を高め充実させるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。また、業態間競争に勝ち抜く収益基盤の確立を図るため、経営効率改善に注力しております。

さらに、当社グループとして一層の企業価値向上を実現するため、これまで取り組んでまいりました一連の改革に続くステップとして、平成26年8月18日をもちまして、純粋持株会社「株式会社キリン堂ホールディングス」を設立し、純粋持株会社体制へ移行いたしました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業におきましては、既存店の活性化対策として当社の連結子会社である株式会社キリン堂が6店舗の改装を実施いたしました。また、平成26年4月より導入した「新ポイントカード」の入会促進活動並びに同カードを利用した販売促進活動等に努めたほか、ヘルス&ビューティケア商品のカウンセリング販売、PB商品の積極的な展開と販売強化に努めてまいりました。

第1四半期連結会計期間におきましては、消費税増税前の駆け込み需要の寄与に加え、調剤部門の売上高が伸長するなど順調に推移しましたが、第2四半期連結会計期間における消費税増税前の駆け込み需要の反動や記録的な大雨などの天候不順が響き、当第2四半期連結累計期間では減収となりました。売上総利益率は、ヘルス&ビューティケア商品のカウンセリング販売やPB商品の販売強化が奏功し向上いたしました。セグメント利益では、販売費及び一般管理費も増加し、減益となりました。

出退店状況におきましては、スーパードラッグストア2店舗、小型店1店舗の計3店舗を出店し、スーパードラッグストア2店舗を閉店した結果、当第2四半期連結会計期間末の当社グループ国内店舗数は、以下のとおり(合計328店舗)となりました。

	前期末	出店等	閉店	当第2四半期末
スーパードラッグストア (内、調剤薬局併設型)	275 (28)	2 (-)	2 (-)	275 (28)
小型店 (内、調剤薬局併設型) (内、調剤薬局)	49 (5) (19)	1 (-) (-)	- (-) (-)	50 (5) (19)
その他 (内、調剤薬局併設型)	1 (1)	- (-)	- (-)	1 (1)
FC店	2	-	-	2
合計	327	3	2	328

この結果、小売事業の売上高は507億70百万円、セグメント利益は7億19百万円となりました。

<その他>

卸売事業におきましては、販売に注力し、コストコントロールに努めた結果、概ね堅調に推移いたしました。

医療コンサルティング事業におきましては、連結子会社である株式会社ソシオンヘルスケアマネジメントが営む在宅医療サポート事業において、平成26年度の在宅医療の診療報酬改定の影響を受けました。

また、海外事業におきましては、連結子会社であるBEUNET CORPORATION LTD及び同子会社3社のほか、忠幸麒麟堂(常州)商貿有限公司が中国で展開する3店舗の売上寄与はあったものの、出店の先行費用等が増加いたしました。

この結果、その他の売上高は4億87百万円、セグメント損失は51百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高512億57百万円、営業利益4億15百万円、経常利益は6億74百万円、四半期純利益は1億17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、444億11百万円となりました。負債合計は、326億10百万円となりました。純資産合計は、118億円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、78億99百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、21億54百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億5百万円、減価償却費6億1百万円、売上債権の減少6億40百万円、仕入債務の増加7億30百万円の増加要因と、たな卸資産の増加3億57百万円、法人税等の支払額7億49百万円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億23百万円となりました。これは主に、新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出6億53百万円、貸付金の回収による収入1億85百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、52百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億12百万円、短期借入金の収支による収入超過2億99百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年8月18日公表の予想を修正いたしました。

詳細は、本日発表の「平成27年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成26年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,673
受取手形及び売掛金	1,511
たな卸資産	13,156
その他	2,567
貸倒引当金	△4
流動資産合計	24,904
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	7,503
その他(純額)	1,842
有形固定資産合計	9,346
無形固定資産	
のれん	1,358
その他	249
無形固定資産合計	1,607
投資その他の資産	
敷金及び保証金	4,042
その他	4,928
貸倒引当金	△417
投資その他の資産合計	8,553
固定資産合計	19,506
資産合計	44,411

(単位:百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成26年8月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	13,574
電子記録債務	1,426
短期借入金	4,575
未払法人税等	372
賞与引当金	398
ポイント引当金	0
その他	2,911
流動負債合計	23,258
固定負債	
長期借入金	6,533
資産除去債務	1,072
その他	1,745
固定負債合計	9,351
負債合計	32,610
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,000
資本剰余金	5,460
利益剰余金	5,109
自己株式	△0
株主資本合計	11,569
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	80
為替換算調整勘定	21
その他の包括利益累計額合計	101
少数株主持分	129
純資産合計	11,800
負債純資産合計	44,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	51,257
売上原価	37,460
売上総利益	13,797
販売費及び一般管理費	
報酬及び給料手当	5,442
賞与引当金繰入額	390
賃借料	2,759
その他	4,788
販売費及び一般管理費合計	13,381
営業利益	415
営業外収益	
受取情報処理料	192
受取賃貸料	184
その他	130
営業外収益合計	507
営業外費用	
支払利息	50
賃貸費用	166
その他	31
営業外費用合計	248
経常利益	674
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	51
減損損失	118
特別損失合計	169
税金等調整前四半期純利益	505
法人税、住民税及び事業税	323
法人税等調整額	59
法人税等合計	383
少数株主損益調整前四半期純利益	122
少数株主利益	4
四半期純利益	117

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	122
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	6
為替換算調整勘定	△16
その他の包括利益合計	△10
四半期包括利益	111
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	107
少数株主に係る四半期包括利益	4

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成26年3月1日
至平成26年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	505
減価償却費	601
のれん償却額	232
固定資産売却損益(△は益)	△0
固定資産除却損	50
減損損失	118
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	55
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△21
受取利息及び受取配当金	△24
支払利息	50
売上債権の増減額(△は増加)	640
たな卸資産の増減額(△は増加)	△357
仕入債務の増減額(△は減少)	730
その他の資産の増減額(△は増加)	△13
その他の負債の増減額(△は減少)	376
その他	3
小計	2,933
利息及び配当金の受取額	23
利息の支払額	△52
法人税等の支払額	△749
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△653
有形固定資産の売却による収入	90
無形固定資産の取得による支出	△18
投資有価証券の取得による支出	△0
子会社出資金の取得による支出	△0
貸付けによる支出	△57
貸付金の回収による収入	185
店舗敷金及び保証金の差入による支出	△90
店舗敷金及び保証金の回収による収入	38
その他の支出	△16
その他の収入	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△523
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	299
長期借入れによる収入	2,100
長期借入金の返済による支出	△2,084
リース債務の返済による支出	△81
配当金の支払額	△112
割賦債務の返済による支出	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	52
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,666
現金及び現金同等物の期首残高	6,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,899

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業				
売上高					
外部顧客への売上高	50,770	487	51,257	-	51,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	291	291	△291	-
計	50,770	778	51,549	△291	51,257
セグメント利益又は損失(△)	719	△51	668	△252	415

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売事業、医療コンサルティング事業及び海外事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△252百万円には、セグメント間取引消去10百万円、のれんの償却額△232百万円、営業権の償却額△7百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△23百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主として店舗を基本単位としてグルーピングしております。その結果、市場価格の著しい下落または収益性の悪化により、回収可能価額が帳簿価額を下回った資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「小売事業」セグメントの減損損失の計上額は103百万円、「その他」に含まれる海外事業セグメントの減損損失の計上額は14百万円であります。

4. (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結財務諸表

この四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づき株式会社キリン堂が任意で作成したものです。

(1) (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,756	7,673
受取手形及び売掛金	2,141	1,511
たな卸資産	12,799	13,156
その他	2,805	2,568
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	23,498	24,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,984	7,503
その他(純額)	1,528	1,842
有形固定資産合計	8,512	9,346
無形固定資産		
のれん	1,590	1,358
その他	262	249
無形固定資産合計	1,853	1,607
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,036	4,042
その他	5,087	4,928
貸倒引当金	△432	△417
投資その他の資産合計	8,691	8,553
固定資産合計	19,057	19,506
資産合計	42,555	44,412

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,071	13,574
電子記録債務	1,198	1,426
短期借入金	4,296	4,575
未払法人税等	806	372
賞与引当金	342	398
ポイント引当金	22	0
その他	2,225	2,889
流動負債合計	21,962	23,236
固定負債		
長期借入金	6,501	6,533
資産除去債務	1,057	1,072
その他	1,232	1,745
固定負債合計	8,790	9,351
負債合計	30,753	32,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,237	3,237
資本剰余金	3,223	3,223
利益剰余金	5,105	5,133
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,565	11,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73	80
為替換算調整勘定	38	21
その他の包括利益累計額合計	112	101
少数株主持分	124	129
純資産合計	11,802	11,824
負債純資産合計	42,555	44,412

(2) (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年8月15日)
売上高	51,773	51,257
売上原価	38,060	37,460
売上総利益	13,713	13,797
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	5,283	5,430
賞与引当金繰入額	379	390
賃借料	2,696	2,759
その他	4,482	4,778
販売費及び一般管理費合計	12,842	13,358
営業利益	870	438
営業外収益		
受取情報処理料	188	192
受取賃貸料	178	184
その他	104	130
営業外収益合計	471	507
営業外費用		
支払利息	64	50
賃貸費用	163	166
その他	54	24
営業外費用合計	282	241
経常利益	1,059	705
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券償還益	6	—
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除却損	7	51
減損損失	59	118
その他	1	—
特別損失合計	69	169
税金等調整前四半期純利益	996	536
法人税、住民税及び事業税	545	323
法人税等調整額	△15	66
法人税等合計	530	390
少数株主損益調整前四半期純利益	466	145
少数株主利益	9	4
四半期純利益	456	141

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年8月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	466	145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	6
為替換算調整勘定	12	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	28	△10
四半期包括利益	494	135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484	130
少数株主に係る四半期包括利益	9	4

(3) (参考) 株式会社キリン堂 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年8月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	996	536
減価償却費	541	601
のれん償却額	219	232
固定資産売却損益(△は益)	—	△0
投資有価証券償還損益(△は益)	△6	—
固定資産除却損	7	50
減損損失	59	118
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	27	55
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1	△21
受取利息及び受取配当金	△27	△24
支払利息	64	50
売上債権の増減額(△は増加)	49	640
たな卸資産の増減額(△は増加)	△510	△357
仕入債務の増減額(△は減少)	1,226	730
その他の資産の増減額(△は増加)	68	△21
その他の負債の増減額(△は減少)	332	353
その他	△3	3
小計	3,049	2,933
利息及び配当金の受取額	25	23
利息の支払額	△64	△52
法人税等の支払額	△252	△749
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,757	2,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△458	△653
有形固定資産の売却による収入	5	90
無形固定資産の取得による支出	△23	△18
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の償還による収入	20	—
子会社出資金の取得による支出	△12	△0
貸付けによる支出	△49	△57
貸付金の回収による収入	202	185
店舗敷金及び保証金の差入による支出	△45	△90
店舗敷金及び保証金の回収による収入	43	38
その他の支出	△5	△16
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322	△523

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月16日 至平成25年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月16日 至平成26年8月15日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	299
長期借入れによる収入	1,600	2,100
長期借入金の返済による支出	△2,316	△2,084
リース債務の返済による支出	△72	△81
配当金の支払額	△113	△112
割賦債務の返済による支出	△3	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△905	52
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,545	1,666
現金及び現金同等物の期首残高	5,724	6,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,269	7,899

5. 補足情報

販売の状況

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
小売事業(百万円)	50,770
その他(百万円)	487
合計(百万円)	51,257

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 小売事業における品目別売上高は次のとおりであります。

区分		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)	
		売上高(百万円)	構成比(%)
商品売上高	医薬品	9,383	18.5
	健康食品	2,197	4.3
	化粧品	13,165	25.9
	育児用品	1,457	2.9
	雑貨等	19,940	39.3
	計	46,143	90.9
調剤売上高		4,398	8.7
その他		228	0.4
合計		50,770	100.0

(注) 小売事業の「その他」は、社員販売売上高等であります。